

決定。大前研一の提唱する平成維新憲章の理念を実現する市民運動団体である

③〔審議〕2. 会計責任者設置の要不要

議長望月氏により、質問意見応答時の「会計責任者を置くべき」との意見に対応して、提議あり、審議開始。「こういう団体には当然会計責任者を置くべき」。また、誰か運営者の側の人から、代表世話人会議が実質的に会計責任を負うので不要ではないか？」

決定 多数決により、かなり大差で会計責任者を置くと決定。

3. 代表世話人選出

議長望月氏より説明 東京エリア会報で広報して、6月30日まで、「代表世話人」の立候補者を受け付けた。現在まで立候補者は1名のみである。前東京エリアマネージャーの江頭清昌氏である。立候補者の中から決定することになっていたため、本日は、江頭氏を代表世話人とすることの承認の議決を取ることになる。立候補の弁 江頭清昌氏

選出 反対拳手者無しにより、江頭氏を「平成維新を実現する都民の会」本年度代表世話人として承認選出。

4. 新年度予算審議

① 新年度予算案説明 杉原氏（江頭氏代理資格で）

会報発送数が会員数と同じでないのは、入ってくれそうな方、会費未納の方にも、送ろうという主旨でのもの。会員は200名にしてあるが、かなり低めに見積もったつもりである。（下表参照）

② 「平成維新を実現する都民の会協賛会」について説明 杉原氏 「平成維新を実現する都民の会」立ち上げ資金が不足しているため、その資金募金団体として、この協賛会を作った。サブマネージャー会議の決定による。配布会員募集申込みに従いご協力をお願いする。

③ 新年度予算案承認議決 異議なしにより承認された。

*. その他

参議院選挙に関する諸連絡 松本氏 足代氏：平成維新の会のパソコン

通信ネット上の、知事選から5月中旬の議論をほとんど収録した冊子あり。入り用の方お持ち帰りください。菅井氏より、1.（新組織〔全国〕について） どんどん各地で立ち上げたものを集約する組織である。中央を先に作って全国に広げようとしても、結局は誰と誰でやるのかという話になる。器を先につくって中身を合わせるとうまくいかない。各地で中身を作った後、それを繋ぎ合わせ、それにあう器をつくるということだ。2.（大前さんについて） 私はこれだけは言っておきたいが、大前さんは確かに方法論はくるくる変わるが、世の中を変えたい、平成維新を実現したいという一点については、全然ブレでない。との発言あり。2.については出席者からかなり拍手あった。

閉会の辞として

本日は新しい会の発足にあたって、みなさんとこれだけの議論、これだけの内容の濃い話し合いができたことは、私としてもたいへんうれしい。今日の議論を出発点として、みなさんと素晴らしい会をつくっていききたい。との議長望月氏の弁があり、出席者一同の拍手と共に閉会した。

*参考：当日配布資料 a 会員総会次第 A4二枚（含活動、決算報告 組織変更経緯） b 「平成維新を実現する東京都民の会」入会案内申込書 A4一枚 c 「同上」の会則案 B4一枚 d 「同上」協賛会案内申込書（資金カンパ呼び掛け） A4一枚 e 平成維新憲章（小折紙） f 「同上」の新年度予算小紙片

「平成維新を実現する都民の会」1995年度（1995年7月～1996年6月）予算

収入		支出	
会費収入	60万円	会報発行費	50万円
¥3,000*200人=60万円		¥2,000*250部=50万円	
		諸経費	10万円
収入合計	60万円	支出合計	60万円

（注1）会員総数200人・会報送付数250部と仮定した。

（注2）会報7・8月号は、旧活動会員他約1,300部送付の予定だが、この費用は特別会計として、協賛会の資金を充当する予定である。



投稿・意見・質問を募集します

従来お送りしていた「東京エリア会報」の情報・連絡のお知らせに加えて、「生活者通信」では、新しく発足した「平成維新を実現する都民の会」の会員の皆様からの投稿を募集します。日頃考えておられる政治に関するご意見、当会のありかたに関する希望や意見などを下記までお寄せください。次号以降の生活者通信でご紹介いたします。ご質問をお寄せいただいた場合には可能な限りの取材を行って、回答も同時に掲載したいと考えておりますので、お気軽に下記までお寄せください。ページの都合などによって掲載に際して編集を加えさせていただくこともあります。なるべく多くの方のご意見を掲載したいと考えております。

また、お寄せ戴ける投稿が多く集まるようでしたら、この会



報に投稿のページを常設したいと考えております。皆様のご意見を反映させた「平成維新を実現する都民の会」を作っていくためにも積極的な投稿を歓迎します。

なお、投稿の送り先は下記のとおりです。郵便の場合は下記の住所までお送りください。〒180 東京都武蔵野市境南町3-12-9 山本明夫 気付 生活者通信編集部。NIFTY-Serveの電子メールがご利用いただける方はGCH01030（山本 明夫）まで、インターネットでのメールの宛先はGCH01030@niftyserve.or.jpとなります。FAXの方は03-3375-2830（望月忠雄）まで。

*編集・レイアウトなどの際しての都合を申し上げますと、投稿は電子メールで頂戴するのが一番便利です。電子メールが利用可能な方は是非電子メールをご利用ください。